

## 修学旅行のレポート

この2日間の思い出は、言葉にできないぐらいの感動がありました。ひと言でいって、「友達とのおもいやり」が、とても印象に残っています。

友達が朝起きて、「気持ち悪い。はきそう。」と言いました。私達は、バケツを持ってきて、「はいもいいよ。」と言ったけど、その子は、「嫌だ!」と言いました。最初は、はくのが怖いのかな、と思いました。でもその子は、「みんなに見せたくない。みんなに嫌な思いをさせたくない。」と言っていました。私は、自分のことよりも友達のことを優先して考えていたことに、すごく感動しました。

気分が悪くなってしまった友達へ。私達のことを思ってくれて、ありがとう。ずっと、はくのをかくしてくれた。私達が心配するからって思ったでしょう。でも、大丈夫だよ。もう、今は過去の話だから。これからは、一人で不安を抱えないでどんどん頼ってね。私達がいるからね。

班長をしてくれた友達へ。二日間、おつかれさまでした。気分が悪くなってしまった子がいたとき、ずっと看病していたね。私は、その姿に感動したよ。私は、見習いたいと心から思ったよ。友達って、すごくいいもの。友、友、友。

修学旅行はすごく楽しかったです。一番心に残っている場所の一つが清水寺です。きれいな景色と清水寺の高さに驚きました。音羽の水にはすごく人が並んでいて行けませんでしたが、見ることでよかったです。金閣寺も直接見た方がすごくきれいでした。太陽の光でキラキラして見えました。奈良では仲間との協力をすることができました。班の子がけがをしてしまったとき、「バスに誰がいるか、見てくる。」「先生をさがしてこようか。」などと優しい声を全員がかけていました。この二日間でとても楽しい思い出を作ることができました。小学校生活最後の大きな思い出としてずっと大切にしたいです。

いつもは教科書を見て勉強をしていたけど、歴史人物を目の前にして歴史の勉強をしたほうが、やっぱり集中できました。実際に見ると心に残るし、建造物を作った人の気持ちがどうだったかもわかるからよかったです。

校長先生も言っていたように、友達がいなかったらここまで楽しく思い出に残る修学旅行にならなかったと思います。途中でグループがばらばらになるところもあったけれど、友情がすごく深まったと思いました。

三十三間堂が一番印象に残りました。千体千手観音像は、千人もの像一体一体の顔が少しずつちがって、ななめから見ると像が一行にならなくて、千の手に持っている物は一つ一つ違います。また、通し矢をする廊下はすごく長くて、矢を屋根ぎりぎりを通さないとの的に当たらないのですごいと思いました。

タクシーの運転手さんやお店の人、旅館の人が優しく、あたたかく接してくれました。愛知県内では方言が同じ人しかいないけれど、県外に出て言葉が違うことに気がつき、言葉っておもしろいなと思いました。京都の人は特に、礼がゆっくりで丁寧だと思いました。

一番印象に残ったのは金閣寺です。写真で見るとよりも金!という感じがしました。小さな金箔がたくさん貼られているので、小さなマス目ができていました。金閣寺に来ているのは外国人が多くて、みんなが立派だ、と言っていました。他の建物とは全く違って、京都のメインにふさわしいと思いました。前から見ても、後ろから見ても、違った様子に見えてきれいでした。池に映った金閣も見てみたかったです。

京都を見学してまわって感じたことがあります。同じような建物であっても、古びていても、神様や仏様の像などがあると、他の建物とは別物のようでした。また、中に入ると、場の空気が違う感じがしました。グループでざわざわしながら入っていても、仏様の前などに来ると、みんなが自然とあまりしゃべらなくなりました。

来年修学旅行に行く5年生には、清水寺をすすめたいです。願いがかなう有名な「音羽の滝」や、縁結びの地主神社などがあって、見ごたえがありました。